

3Dものづくり技術によるエビ形の食品成形用金型の開発支援

■支援の概要

エビ形の練り製品を大量に製造するためには成形用金型が必要になります。このエビ形の金型を開発することを目的とし、ハンドメイドされたエビ原型から雌型の3次元CADデータをつくるため、3Dものづくり技術を使用したリバースエンジニアリングの支援を行いました。

■支援の項目

- ①「X線CT装置」によるエビ原型の3次元形状測定と、3次元データ（三角形の集合体）作成。
- ②「3次元点群データ処理装置」によるデータ表面の最適化とサーフェスデータの作成。
- ③サーフェスデータをもとに、雌型の3次元CADデータを作成。
- ④3次元CADデータをもとに「CAMシステム」による加工パス作成。
- ⑤「マシニングセンター」によるテスト加工、加工条件決定。



■支援の成果

本支援をもとに平成26年に量産用金型が開発され、海外でエビ形の食品が製品化されました。

担当職員：藤井謙治、永田正道、梶本英嗣

支援企業：株式会社ヤナギヤ